

競技注意事項

1. 規則について

本大会は 2012 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 国立競技場使用上の注意

- 1) 当該種目競技者以外は、競技エリア、ダッグアウトへの立ち入りを禁止する。
- 2) 更衣室は指定された場所を厳守して使用し、荷物は各大学で責任を持って管理すること。また、貴重品類は各自で保管し、万一のことがあっても主催者側が責任を負うことはない。
- 3) 更衣室は各日使用した大学が使用后清掃すること。
- 4) 競技場は全天候舗装である(競技規則第 143 条の競技用靴に関する条項を参照)。
- 5) 競技場内におけるガムテープ等での貼り付けは一切禁止とする。
- 6) 競技場内の全ての電源の使用を禁止する。
- 7) 室内練習場でのトレーナー活動は、事前に大会本部の許可を受けた参加校に限る。また、更衣室でのトレーナー活動は一切禁止とする。
- 8) ダッグアウトでの練習は、事故防止のため厳禁とする。
- 9) 練習はランプ下直走路、コンコース（バックストレート側のみ）を利用すること。コンコース（バックストレート側のみ）は、一方走行とし、逆走は厳禁とする。また、練習場係の指示には必ず従うこと。
- 10) フィールド競技種目の練習は、各審判員の指示に従い競技開始前に各々の競技場所にて行うこと。

3. ナンバーカードについて

- 1) ナンバーカードは正規のものを 2 枚配付する。そのままの大きさと胸と背に確実につけること。ただし、走高跳、棒高跳競技者は胸、または背だけでもよい。トラック種目出場者は競技者係で配付する写真判定用腰ナンバー標識（競技終了後回収）をパンツの右下やや後方に付ける。すべてのナンバーカードは折り曲げたりしてはならない。
- 2) 5000m、10000m、10000mW、ハーフマラソン、4×400mR 出場者には、該当種目実施週に招集所にてレース用特別ナンバーを配付する。その際、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。なお、男女 5000m、男女 10000m、男女 10000mW については両腰に腰ナンバー標識を着用する。
- 3) ハンマー投に出場する選手には、当日日本大学陸上競技場にて競技用特別ナンバーを配付する。その際、確認のため事前に配付したナンバーカードを必ず持参すること。
- 4) ナンバーカードの地色、数字の色は次の通りとする。

種目	ナンバーカード
● 男子 1 部	オレンジ地×黒数字
● 男子 2 部・3 部	青地×黒数字
● 女子 1 部・2 部	ピンク地×黒数字
● 5000m・10000m ● ハーフマラソン（男子 1 部） ● 10000mW（男子 1 部） ● 4×400mR ● ハンマー投	黄地×黒数字
● ハーフマラソン（男子 2 部・3 部） ● 10000mW（男子 2 部・3 部、女子 1 部・2 部）	白地×黒数字

4. 競技者の招集について

- 1) 競技者招集所は北入場口(100m スタート地点後方付近)に設置する。ただし、ハンマー投の招集については、日本大学陸上競技場（ウェイト場横の芝生）で行う。また、ハーフマラソンの男子 1 部招集は控室 G、男子 2 部・3 部招集は控室 H で行う。
- 2) 各種目の招集開始・完了時刻は次表の通りとする。なお、招集完了時刻は競技日程を基準とする。

競 技 種 目		ラウンド	組	開始	完 了
トラック	男子 1 部・2 部・3 部 女子 1 部・2 部全種目 ※リレー種目を除く ※3000mSC（予選）を除く	全 て	1～2	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
			3～4	” 20 分前	” 10 分前
			5	” 10 分前	競技開始 時刻
	男子 1 部・2 部・3 部 女子 1 部・2 部リレー種目	全 て	1～2	競技開始 45 分前	競技開始 30 分前
			3～4	” 30 分前	” 15 分前
			5	” 15 分前	競技開始 時刻
	男子 1 部・2 部 3000mSC	予 選	1	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
			2	” 10 分前	競技開始 時刻
	フィールド	男子 1 部・2 部・3 部 女子 1 部・2 部 跳躍種目	決 勝		競技開始 60 分前
男子 1 部・2 部・3 部 女子 1 部・2 部 投てき種目		決 勝		競技開始 50 分前	競技開始 40 分前

- 3) 競技者の競技エリアへの入場は担当審判員の指示による。
 - 4) 代理人による点呼は認めない。ただし、競技者が他の種目に出場中の場合、代理人は競技者が競技中である旨を必ず競技者係に申し出ること。また、同時進行種目への出場競技者は重複出場者届(招集所に用意)を競技者係に提出すること。
 - 5) 招集完了時刻に遅れると、当該種目を棄権したものととして処理するので注意すること。
 - 6) リレー競走は、各ラウンドごとにオーダー変更の有無にかかわらず、オーダー用紙(招集所に用意)に記入して、**第 1 組の招集完了時刻 1 時間前までに競技者係に提出すること**(メンバーについては競技規則第 170 条を参照のこと)。
 - 7) 棒高跳の練習は競技場所で競技開始時刻 100 分前から行うことができる。また棒高跳の招集は現地にて行う。
 - 8) 混成種目の招集時刻については 8. 競技についての 4) を参照すること。
 - 9) ハーフマラソンの招集時刻は男子 1 部、2 部それぞれ競技開始時刻の 40 分前に開始し、30 分前完了とする。
5. 棄権について
- エントリー後、病気または事故等により、やむなく棄権する場合は不出場届(大会本部指定の用紙を招集所に用意)に必要事項を記入、押印し競技者係に提出すること。ただし、代表者会議にて棄権を申し出た場合は提出しなくてよい。
6. 競技の抽選・番組編成
- 1) トラック競技のレーン順は、プログラム記載順とする。エントリーが 7 名以下の場合、1 レーンを空けて 2 レーンから行う。
 - 2) トラック競技において、予選・準決勝・決勝の 3 ラウンドが組まれている種目であっても、棄権者が多数出たため、3 ラウンドを行う意味が無くなった場合には、予選・決勝の 2 ラウンドに変更すること

がある。その場合には申込時の記録に基づいて、予選の組編成と決勝進出条件を変更する。

- 3) フィールド競技の試技順は、プログラム記載順とする。
- 4) 準決勝以降の組み合わせおよびレーン順は主催者が公正に抽選する。
- 5) タイムにより次のラウンドの出場者を決める時に、同記録者(チーム)があり、レーンが不足する場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して出場者を決める。それでも決まらない場合は、当該競技者もしくはその委任を受けた代理人により抽選を行い決定する(競技規則第 167 条同成績に関する条項を参照)。

7. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具(やり・棒高跳用ポールを除く)は、すべて主催者側が用意したものを使わなければならない。
- 2) 走高跳・棒高跳の練習に関しては主催者が用意するゴム製バーを使用して練習すること。
- 3) やりに関して、持ち込みを希望する場合は、招集完了時刻 1 時間前までに用器具庫(南入場口)にて公式計測員に許可をもらい使用することができる。なお、個人所有のものは、競技場の備品としての扱いとなるので、他の競技者と共用になる。また、破損等については、持ち込み者個人の責任とする。持ち込みのやりは競技終了後用器具庫にて返却する。

8. 競技について

1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時はすべて電気計時(0.01 秒)を用いて行う。
- ② 5000m 以上の種目では、バックストレートに給水所を設置し、水及びスポンジを用意する。給水後のコップ、スポンジについては他の競技者の妨害になるような捨て方は厳禁とする。

2) 跳躍競技について

- ① 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある)

走高跳	練習						以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 3cm 刻みとする		
	男子 1 部	1.95	2.00	2.05	2.10	2.13			
	男子 2 部・3 部	1.85	1.90	1.95	2.00	2.05			
	女子 1 部・2 部	1.55	1.60	1.65	1.70	1.73			
棒高跳	練習						5	6	以後、最後の 1 人になり、優勝者が決まるまでは 5cm 刻みとする
	男子 1 部	4.50	4.60	4.70	4.80	4.90	5.00	5.10	
	男子 2 部・3 部	4.00	4.20	4.40	4.60	4.70	4.80	4.90	
	女子 1 部・2 部	2.30	2.50	2.70	2.90	3.00	3.10	3.20	

- ② 三段跳の踏切板の位置は、砂場の近いほうの端から男子 13m、女子 10m とする。

3) ハーフマラソンについて

- ① ハーフマラソンにおいて、競技運営管理上、各周回の途中で先頭から 1 周回以上遅れた競技者は失格とし、その後、マラソン門前で失格を告示し、レースを中止させる。ただし、先頭から 30 番目までの競技者は周回遅れになっても失格とはせず、最後までレースを続行させる。
- ② ハーフマラソンの記録はチップ計測とする。

4) 混成競技について

- ① 招集は 1 日目、2 日目の最初の競技種目でのみ招集所で行う。招集時刻は競技開始予定時刻の 30 分前に開始し、20 分前に完了とする。ただし、七種競技 2 日目の走幅跳は 50 分前に開始し、40 分前に完了とする。なお、以後の招集は行わない。競技者は次の種目からは混成競技者控室に待機し、混成競技係の指示を受けること。
- ② 混成競技者控室は、C・D 更衣室(競技場見取り図参照)に設置する。なお、12、13 日については、C 更衣室を男子 1 部、D 更衣室を男子 2 部・3 部、19、20 日については女子 1 部・2 部混成競技者控室とする。
- ③ 混成競技者控室への付添い、コーチ等の出入りは認めない。

- ④ 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。(ただし、天候等の状況により変更することもある)

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男子	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.90	以後、3cm 刻み
	女子	1.35	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.63	1.66	
棒高跳	男子	2.50	2.70	3.00	3.30	3.60	3.80	4.00	4.10	以後、10cm 刻み

9. 表彰について

- 1) 男子 1 部・2 部・3 部、女子 1 部・2 部の総合優勝校、男子 1 部・2 部、女子 1 部のトラック、フィールド優勝校、男子 1 部・女子 1 部の多種目優勝校を表彰する。
- 2) すべての競技終了後、本大会最優秀競技者を男子 1 部・2 部、女子 1 部各 1 名選出し、表彰する。
- 3) 男子 1 部・2 部、女子 1 部の各種目 3 位までに入賞した競技者は、競技終了後ただちに表彰を行うので、表彰控室（競技場見取り図参照）に待機し、表彰係の指示に従うこと。
- 4) 男子 1 部・2 部、女子 1 部の各種目 4 位から 8 位までに入賞した競技者は、賞状を授与するので、大会期間中に表彰控室で賞状を受け取ること。
- 5) 表彰を受ける際は、上は各校の公式ユニフォーム、下は公式ジャージを着用すること。また、ナンバーカードも着用すること。
- 6) 代理表彰は一切認めず、不在の場合は空席として表彰を行う。

10. 対校得点及び順位

- 1) 対校得点は、男子 1 部・2 部、女子 1 部は各種目 1 位 8 点から 8 位 1 点まで 1 点刻みとする。同順位により、対校得点を割る場合には小数計算(ただし、同順位が小数計算で算出できない場合は分数計算とする)を行う。その計算は記録員が行う。
- 2) 優勝校は最多得点校 1 校とする。最多得点校が 2 校以上ある場合は、各競技種目で上位入賞者の多い順に決定する。これで決定しない場合は、4×400mR の順位で決定する。
- 3) 上記 2) によって優勝校が決定しない場合は本連盟評議員会の諮問を経て、本連盟幹事会が決定する。
- 4) 2 位以下の順位は得点順とし、同得点の場合は、2) に準じて決定する。
- 5) 男子 1 部・2 部の入れ替えについては、2 部優勝校と 2 位校が次年度 1 部に昇格する。また 1 部においては下位の 2 校が 2 部に降格する。また 1 部最下位校が無得点で 3 校以上となった場合は、その全大学が 2 部に降格し、同数の 2 部上位校が 1 部に昇格する。また、1 部最下位校が同得点で 3 校以上が並び、2) によっても順位がつかない場合は抽選により 2 校が 2 部に降格し、同数の 2 部上位校が 1 部に昇格する。

11. 男子 3 部、女子 2 部について

1) 番組編成について

男子 3 部は 2 部、女子 2 部は 1 部と同一の番組編成とする。ただし、レーンを使用するトラック種目において、同一種目に 3 名以上の申し込みがあった場合は、男子 3 部、女子 2 部のみで 1 つの組を編成することがある。

2) 競技について

① トラック・道路競技について

予選 1 レースのみ（一発決勝の場合は決勝）に出場することができる。従って、予選での着順やタイムが上位であっても次のラウンドには進めない。

② フィールド競技について

走幅跳、三段跳、投てき種目については、前半の 3 回の試技を行うことができ、その記録で順位を決定する。

走高跳、棒高跳については、男子 2 部、女子 1 部と同様の試技回数とする。

③ 混成競技について

男子2部、女子1部と同様とする。

3) 表彰について

各種目3位までに入賞した競技者は、賞状を授与するので、大会期間中に表彰控室で賞状を受け取る。なお、種目別表彰は行わない。

4) 対校得点及び順位について

- ① 対校得点は、各種目1位3点、2位2点、3位1点とする。
- ② 優勝校の決め方については10. 対校得点及び順位と同様とする。
- ③ 男子3部及び女子2部の入れ替えは一切行わない。

12. 抗議について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者あるいはチームの代表者により結果が電光掲示板に正式発表されてから30分以内(次のラウンドがある場合は15分以内)に、担当総務員(大会本部に常駐)を通じて口頭で審判長になされなければならない。時間以内に申し出がなければ、何ら問題はなかったものと見なされる。

抗議に対して審判長は速やかに裁定する。その裁定を不服とし、さらに抗議をする場合は、上訴申立書(大会本部に用意)に必要事項を記入し、預託金10,000円を添えて上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

この間の事務的処理は担当総務員が行い、抗議者は大会本部で待機する(競技規則第146条抗議と上訴に関する条項を参照)。

13. ドーピング・コントロール・テスト実施について

ドーピング・コントロール・テストは日本アンチ・ドーピング機構及び日本陸上競技連盟の規則に従い実施するドーピング・コントロール・テストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。

14. 商標等について

競技者が競技エリアに商品名のついた衣類、バックなどを持ち込む場合は、「競技会における広告および展示物に関する規程」を遵守すること。基準をこえる商標については必ずガムテープ等を貼って隠すこと。

15. 衣類の管理について

- 1) トラック競技出場者の荷物運搬用としてビニール袋を主催者側で準備する。氏名、大学名、種目、ナンバー、レーンを記入すること。
- 2) スタート前に脱衣した衣類等は籠に入れ審判員が指示した場所に置くこと。これらの衣類は、ただちにフィニッシュライン付近に運ばれるので、フィニッシュ後各自で受け取り退場すること。
- 3) 各リレー種目の決勝、4×100mR 予選の2~4走、ハーフマラソンの荷物運搬に関しては主催者側では行わないので、各自で行うこと。

16. 応急処置・緊急車両の手配について

- 1) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り大会本部および競技場側の許可なく手配をしないこと。手配する場合は、大会本部より車両の手配を行うので、その際は、詳細を含め大会本部に連絡すること。
- 2) 競技中の事故等による身体の故障の場合、医師が応急処置を行うが、事故の結果について本連盟は一切責任を負わないものとする。また、治療費等は本人負担とする(競技者保険の適用)。

17. 応援について

- 1) メインスタンドでの大学を明示するもの(部旗、横断幕、幟等)の使用・掲出は厳禁とする。集団応援場所では、横断幕を除き手持ちに限り使用を許可する。ガムテープ等での貼り付けは一切禁止とする。
- 2) 集団応援は、エントリー時に定めた各大学指定の場所(バックスタンド中段)でのみ行うこと。その他の場所は厳禁とする。

- 3) 横断幕は、エントリー時に定めた各大学指定場所に各大学1枚に限り掲出を許可する。その際は、1日ごとに取り外し、各大学で責任もって保管すること。

18. その他

- 1) 2012年度の日本陸上競技連盟競技規則修改正点について特に注意すること。
- 2) トラック種目における不正スタートは1回で失格とする。混成競技については2回目は誰であろうと失格とする。
- 3) サークルを使用しての投てき練習は1人1分以内とする。
- 4) 競技会において競技者はビデオ、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいならない。
- 5) 競技運営上、多少の競技日程変更がある場合がある。
- 6) 競技エリア内での競技者への付添は一切認めない。
- 7) 式典について

開・閉会式に参加する各大学の旗手、選手(閉会式のみ)は以下の通り集合し、式典担当者の指示に従うこと。

- ・開会式 12日 9:15 集合 北入場口(100mスタート付近)
- ・閉会式 20日 16:15 集合 北入場口(100mスタート付近、該当大学は代表者会議で連絡する)
南入場口(フィニッシュ付近、該当大学は代表者会議で連絡する)

8) 入場規制について

以下の区域に立ち入る者は、指定のIDを所持していなければならない。出場競技者は必ずIDをつけ、ナンバーカードでの競技エリア内への入場は認めない。なお、北入場口の招集所、南入場口のミックスゾーンは競技エリア内とする。

区 域	必要とするID(いずれか1つで可)
メインスタンド下部施設内	チームスタッフ、選手、大会役員、競技役員
競技エリア内・ダッグアウト	競技役員、選手(審判員の指示による)

9) 盗難・紛失について

主催者側で預かった物品については一時保管するが、その他のものについては一切責任を負わない(遺失物等は学連控室で管理する)。

10) 国立競技場開門及び閉門時刻について

	(開 門)	(閉 門)
1日目<5月12日(土)>	7:00	19:30
2日目<5月13日(日)>	7:00	19:30
3日目<5月19日(土)>	6:00	19:30
4日目<5月20日(日)>	7:00	18:00

※開・閉門時刻は厳守のこと。

11) 荷物の搬入搬出について

各大学車輛の競技場構内への進入は禁止とする。ただし、荷物搬出入券を持参している場合に限り南車門からの入場を許可する。その際、競技場内での駐車は禁止とし、荷物の積み下ろし後は、周辺のコインパーキング等に移動すること。

12) 競技中に不測の事態が発生した場合は大会本部の指示に従うこと。

13) その他、不明な点は大会総務に問い合わせること。